150323包装タイムス

丸東産業

液体充填用包材に勢い

5～80℃温度域で高速充填可能に

丸東産業（福岡県小郡市、☎0942・73・3626）が提案する液体高速充填用フィルム「マルトップMLフィルム」が好調だ。低温シール性・ホットタック性・シール強度・耐熱性など高速充填性に対応する機能性の高さで認知を広げている新グレード「ML－Vタイプ」の追加で一段と需要を伸ばしており、今後さらに実績を拡大するものと期待されている。

「マルトップMLフィルム」シリーズは、液体向け高速充填性に優れ、常温充填、ホット充填、チルド充填、ボイル・セミレトルト殺菌とあらゆる充填条件に高い対応力を持つ。充填速度、シール温度など細かなニーズにも製品グレードを充実させ、ラーメンスープ、麺つゆ、醤油、保冷剤、化粧水サンプルなど、高速充填を必要とする製品や試供品など幅広い用途で実績を持つ。

新グレード「ML－Vタイプ」発売でシナジー発揮

昨年9月には、シリーズ新グレード「ML－Vタイプ」を追加。それが相乗的に需要の裾野を広げ多分野で実績を拡大した。同グレードはシリーズの中でシール温度の適用範囲が最も広く、常温充填はもちろんチルド充填（5度C）からホット充填（80度C）の幅広い内容物温度に適性を備えるため、調整が短時間で行え包材ロスを減少。生産スピードを向上させ生産効率向上に寄与する。醤油、わさび、ケチャップなど超高速充填が必要な分野に最も適性を備え採用企業が増加している。

同社では、「内容量の適正化による〝使い切りやすさ〟の推奨、賞味期限延長の実現（ハイバリアフィルムとの組み合わせで実現）、充填包装適性の向上と高強度化による輸送時の破袋トラブル防止といった観点からSave Food『食品ロス廃棄の削減』にも対応」としている。

「マルトップMLフィルム」シリーズには、パウダーをかけなくても滑りの良い仕様の「クリスタルノンPEF」タイプなどもあり、「シール温度域を広げるだけでなくノンパウダーにすることで、内容物へのコンタミネーション防止や工場内の清掃時間の削減が期待できる」として、同社では今後一段と拡販に力を注ぐ考えだ。